SHINNIKKEI

MNT－1020
W－D2－0080－01

全開口サッシ

お施主様用保存版
取り扱い説明書

■このたびは“全開口サッシ”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品を正しく安全にご使用いただくために、この取り扱い説明書および商品に貼付したラベルをよくお読みください。
アコーデオン網戸の取り扱いについては、網戸本体梱包の中にある取り扱い説明書を参照してください。

この取り扱い説明書は、いつでもお読みいただけるよう**大切に保管**してください。

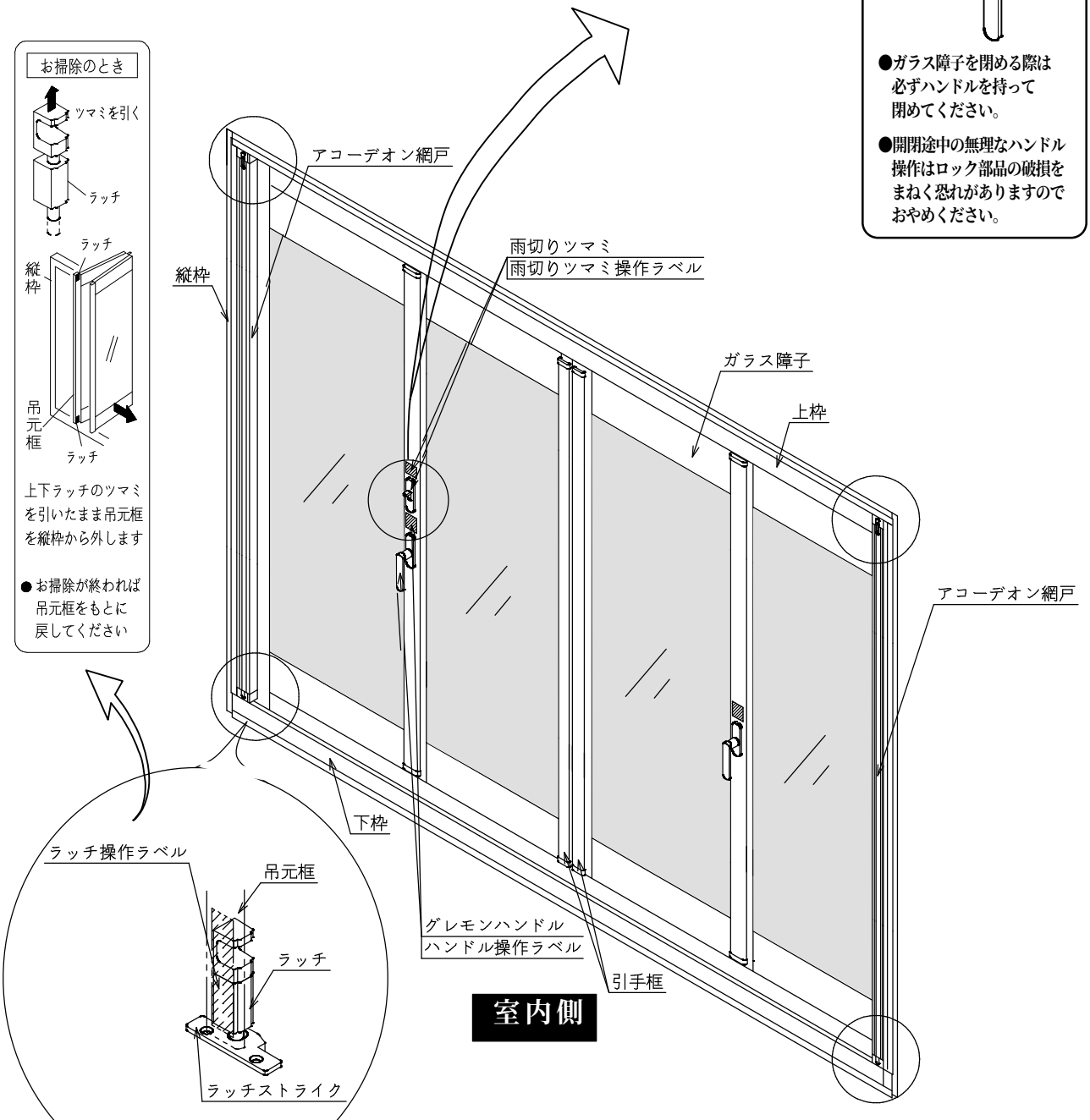
目　　次

1．各部の名称　・・・ P 2
2．操作方法について　・・・ P 4
■ ガラス障子の開操作及びロック解除操作　・・・ P 4
■ ガラス障子の閉操作及びロック操作　・・・ P 5
■ 雨切りツマミの操作　・・・ P 6
■ ガラス障子固定金具（ラッチ）の使い方　・・・ P 7
3．お手入れについて　・・・ P 9
4．保守点検について　・・・ P１０
5．修理依頼について　・・・ P１０
6．商品保証について　・・・ P１１
7．サービスネットワーク　・・・ P１２

販売店・工事店様へ
この説明書は、施工後、お施主様へ必ずお渡しください。

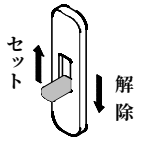
1 各部の名称

障子全閉図



雨切りツマミの操作について

●雨切りツマミは雨風の強いときにガラス障子を全閉しハンドルをロックしたあとにセットしてください。

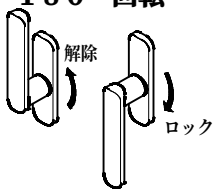


ハンドルの操作について

●ハンドルはガラス障子を完全に閉めた状態で確実に180°まわしてください。

（開）　（閉）

180°回転

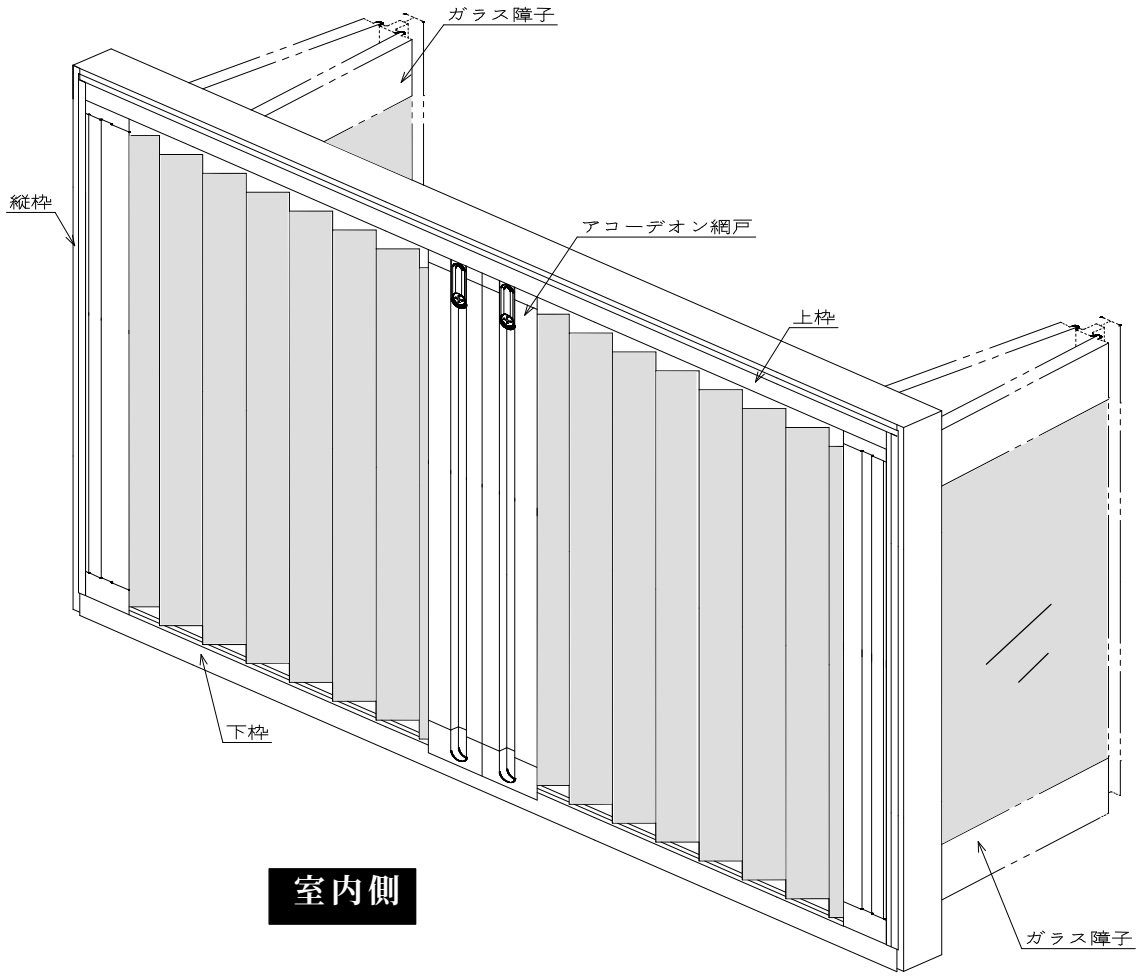


●ガラス障子を閉める際は必ずハンドルを持って閉めてください。

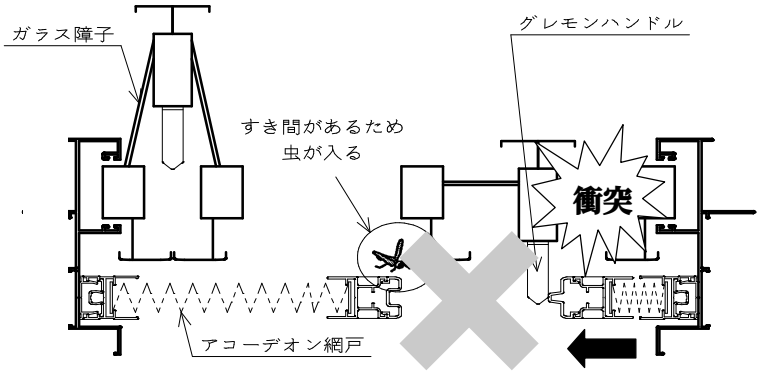
●開閉途中の無理なハンドル操作はロック部品の破損をまねく恐れがありますのでおやめください。

○印はラッチが取り付けられている位置

網戸全閉図



注意 **アコーデオン網戸は両方のガラス障子を開けたときのみ、ご使用ください。**
ガラス障子の一方が開放された状態で他方が閉まった状態の場合、開放部分の
アコーデオン網戸を引き出しても、すき間が残りますので虫が入るおそれがあります。
また、閉まっている部分のアコーデオン網戸を動かすと、グレモンハンドルと網戸が
ぶつかり、手を挟むおそれがあります。

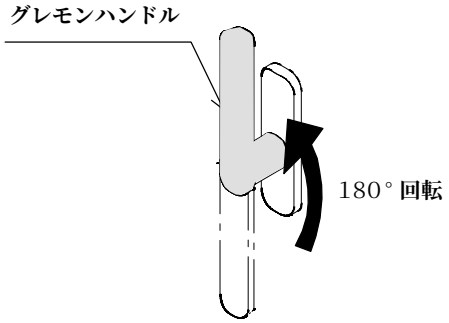


2 操作方法について

■ 障子の開操作及びロック解除操作

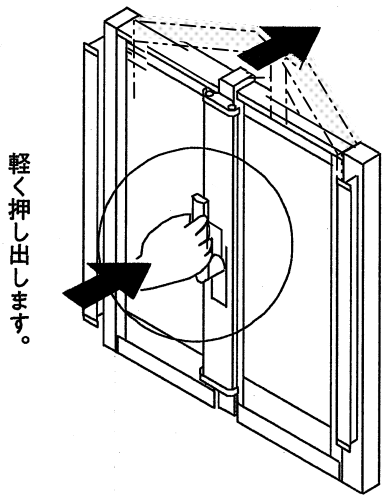
閉 → 開 の場合

1．開ける障子のグレモンハンドルを反時計回りに 180° 上向きにまわしてください。
障子のロックが解除されます。

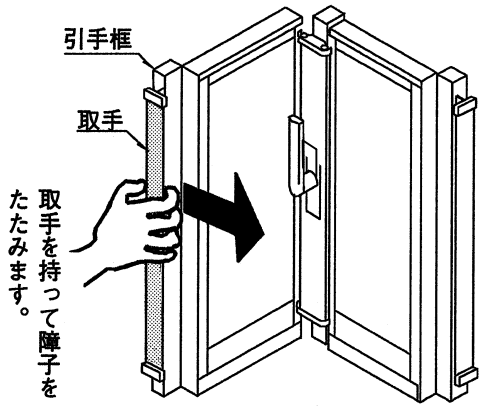


2．グレモンハンドルをもって障子を軽く外へ押し出してください。

注意 **障子を開ける時は、雨切りツマミが下に下がっているか必ずご確認ください。**
雨切りツマミが上に上がった状態で無理な力をかけると部品が破損するおそれがあります。



3．引手框の取手を持って障子を折りたたんで開放してください。

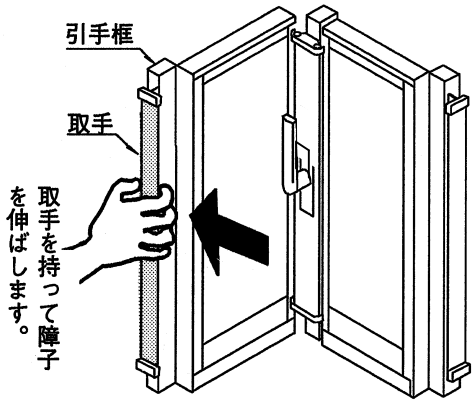


■ 障子の閉操作及びロック操作

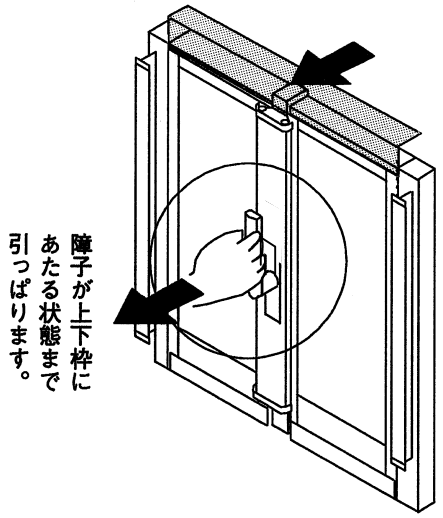
開 → 閉 の場合

1．引手框の取手を持って障子を閉めてください。

注意 引手框に手をそえて操作しますと、
指を挟みケガをするおそれがあります。

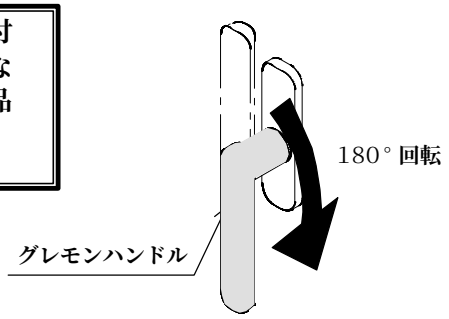


2．グレモンハンドルを持って手前に軽く引き障子を完全に閉鎖してください。



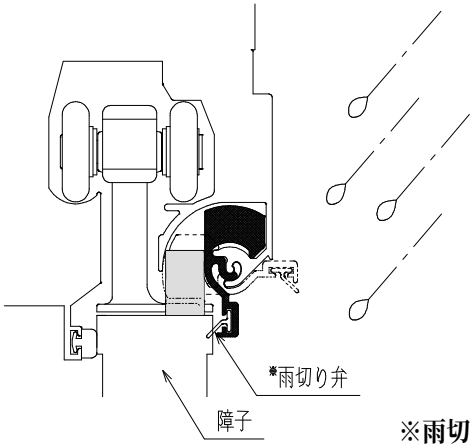
3．障子を完全に閉鎖した状態のまま、グレモンハンドルを時計回りに 180° 下向きにまわしてください。
障子がロックします。

注意 グレモンハンドルには誤動作防止機構が付いていますので、完全に障子を閉じていない状態で無理にまわすと、誤動作防止部品が破損する恐れがあります。



■ 雨切りツマミの操作（雨切りツマミは内観左側のグレモンハンドルにのみ付いています。）

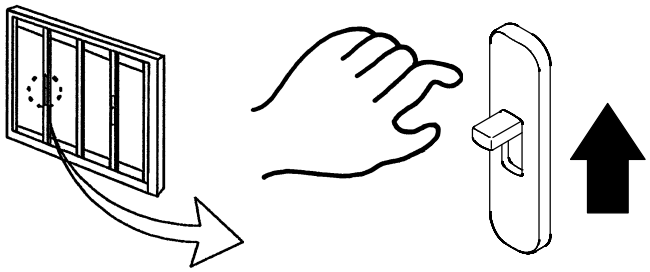
○ 雨切りツマミは、障子の上方から雨水が浸入するのを防ぐために用います。
通常のお天気では、グレモンハンドルだけで十分対応できますが、雨・風の強いときは
窓の密閉をよくする雨切りツマミの使用をお勧めします。



※雨切りツマミの操作により弁が作動します。

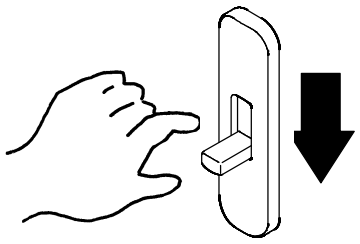
作動 ・・・ 雨切りツマミを上げる

雨切りツマミを上にあげて“ＯＮ”の状態にすると雨切り弁が作動します。
雨切りツマミは障子が完全に閉じていなければ作動しません。



解除 ・・・ 雨切りツマミを下げる

雨切りツマミを下におろして“ＯＦＦ”の状態にすると雨切り弁が解除されます。
雨切り弁は障子の上方を覆う構造であり、作動状態であると、障子を開けることはできません。



■ ガラス障子固定金具（ラッチ）の使い方

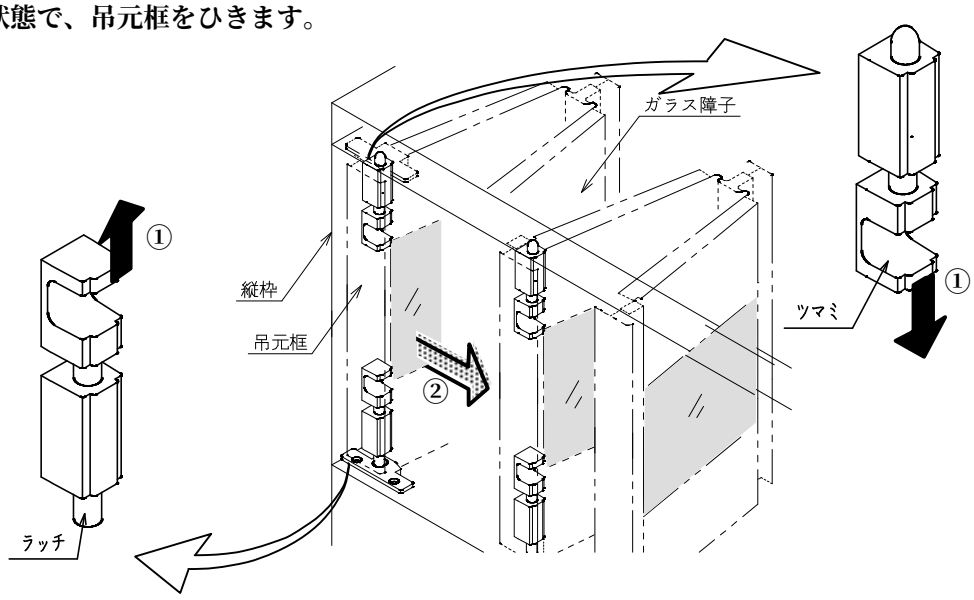
ガラス障子の清掃のとき、ガラス障子を縦枠から離し移動させ清掃することができます。

1．ガラス障子固定金具（ラッチ）の解除

○ 上・下ラッチのツマミを引くとラッチは解除され、吊元框が縦枠から離れます。

ラッチの解除方法

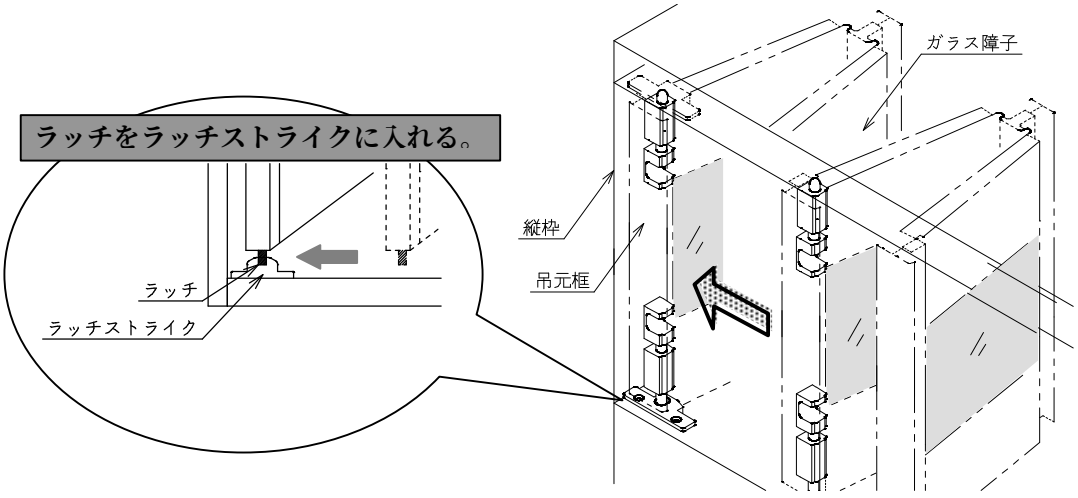
① ラッチのツマミ部分をひきます。
② ①の状態で、吊元框をひきます。



2．ガラス障子固定金具（ラッチ）のロック

○ 移動したガラス障子を閉めるときは、吊元框を縦枠に戻してください。
ラッチは自動的に納まりロックされます。

ラッチがラッチストライクに入りにくい場合、すべての障子を閉じれば、自動的にラッチストライクに入ります。

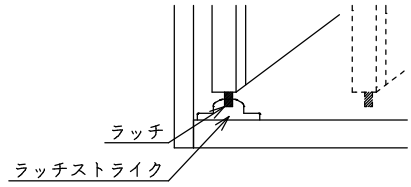


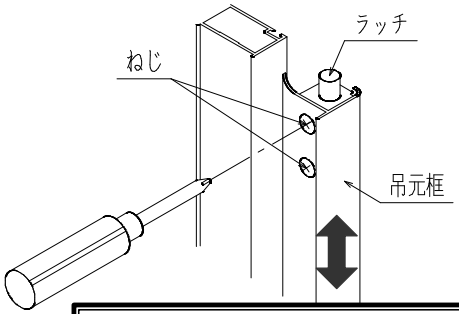
3．ガラス障子固定金具（ラッチ）の調整

吊元用引手框をラッチストライクに入れた後、ラッチのかかり具合を確認してください。

かかりの調整は、２本のねじを緩めラッチを上・下に動かすことで調整することができます。

ラッチをラッチストライクに入れ吊元框がきちんと固定しているか確認してください。



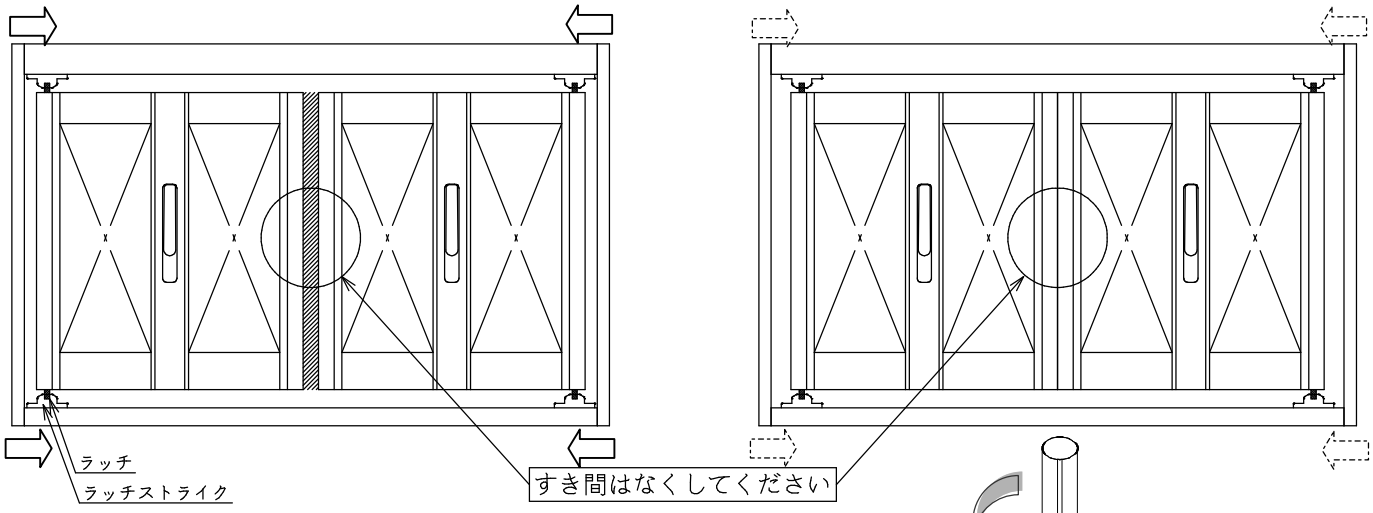


ラッチは上・下に調整可能です。

4．突合わせすき間をなくしてください。

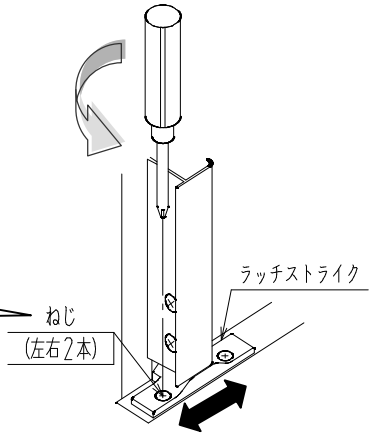
障子を全閉しグレモンハンドルをかけて、引手框同士の突合わせ部にすき間がないか確認してください。

⚠ 隙間は漏水の原因となります。



すき間があった場合、室内側の四隅にあるラッチストライクを２本のねじを緩め調整し、すき間をなくしてください。

ラッチストライクは左・右に調整可能です。



3 お手入れについて

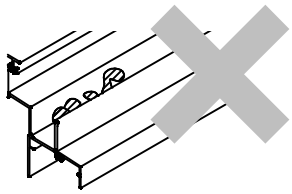
■ 清掃について

・長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。
清掃の目安は、少なくとも年に１～２回程度です。

・特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいのでこまめにお手入れしてください。

下枠のお掃除

下枠内に、ゴミ・土・砂・石などがたまりますと
ガラス障子の開閉の支障となります
常に、きれいにするように心がけてください。

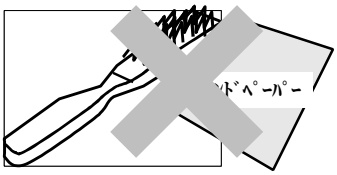


アルミ部材のお手入れ



・清掃には中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかな布などを使って表面を洗浄してください。次に十分に水で洗浄の汚れを洗い流し、乾いた布で水分を拭き取ってください。

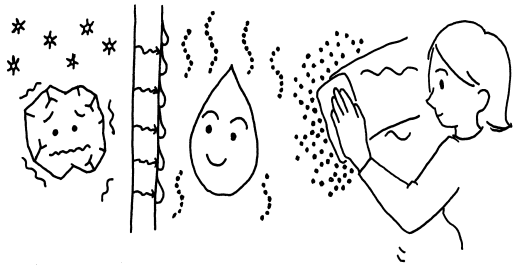
・歯ブラシやサンドペーパー、または洗車用ブラシやワイヤーブラシなどを使わないでください。
製品にキズがつき、しみや腐食の原因になります。



結露について

・結露が発生した場合、床や壁の汚損防止・木部の腐食防止のために、十分に拭きとってください。

・窓ガラスやサッシ部分の結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、自然現象として季節を問わず発生します。
一般には、秋冬の季節は暖房により結露が一層発生しやすく、乾燥防止の為に加湿機をご使用の場合は、さらに結露が発生しやすい状況になります。



特に新築の家には、使用した木材などの建材に水分が含まれているため、冬の暖房時に、地域によっては乾燥しやすい時期にその水分が放出されやすい室内環境になり、結露が発生しやすくなります。

結露をできるだけ抑える方法として、

① こまめに換気して室内の水分を含んだ空気を排出すること
② 室内で洗濯物を干さないこと
③ 灯油ストーブの上でやかんの湯をわかさないこと

などを心がけてください。

4 保守点検について

■ 保守点検について

ご使用中にいろいろな不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと、人身事故などの原因になるおそれがあります。次のような不具合がないかどうか、お手入れの時などを利用して点検して処置してください。

こんなとき	ここをお確かめください
障子が完全に閉まらない	下枠内に石などが入っていませんか。
	→ 下枠内に石や物がないことを確かめてから開閉してください。
	障子が完全に伸びていない状態でグレモンハンドルをまわしていませんか。
	→ 障子を完全に閉めてから、グレモンハンドルを下向きにまわしてください。
	障子を閉めるとき、グレモンハンドルが下向きの状態になっていませんか。
	→ グレモンハンドルを１８０°上向きの状態にし、その状態で障子を伸ばしてから、グレモンハンドルを１８０°下向きにまわし閉じてください。
障子が開かない	雨切りツマミが ＯＮ の状態になっていませんか。
	→ 障子を開ける前に必ず雨切りツマミを ＯＦＦ の状態に戻してください。
	グレモンハンドルが下向きの状態になっていませんか。
	→ グレモンハンドルを確実に１８０°上向きにまわしてから障子を開けてください。
雨切りツマミが上がら（ＯＮ）ない	障子の一部が開いていませんか。
	→ 障子がすべて閉じているか確認してから雨切りツマミを上げて（ＯＮ）ください。
雨もれがする	雨切りツマミが ＯＦＦ の状態になっていませんか。
	→ 障子がすべて閉じているか確認してから雨切りツマミを上げて（ＯＮ）ください。

■ その他ご不明な点がありましたら、無理な開閉・修理を行わず、お買い求めの販売店もしくは当社支店・営業所にご連絡ください。住所・電話番号は、この取り扱い説明書に掲載してあります。

5 修理依頼について

■ 修理にあたっては、次のことをお知らせください。
○ 商品名・入居年月日・施工業者・破損箇所や不具合状況： 例）障子が閉まらない。

■ 修理にあたっては、次のことをお知らせください。

入居年月日	年　月　日
施工業者	
	☎(　　)　　-
お近くの当社支店・営業所	
	☎(　　)　　-
商品名	
備考	

6 商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間・保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・破損などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店・工務店・販売店又は当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■ 対象商品

住宅建材商品

■ 保証期間

施工者より引き渡し日（注１・注２）から２年間（電装部品については１年間)。
ただし、商品から雨水浸入については１０年間

（注１）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
（注２）分譲住宅（建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。

■ 保証内容

取り扱い説明書・本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

1. 当社の手配によらない第三者の加工上・組み立て上・施工上・管理上・メンテナンス上などの不備に起因する不具合
（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食・中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食・工事中の養生不良による変色や腐食など）
2. 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
3. 商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り・干割れ・変色など）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）又は、これらに伴うさび・かびなどその他類似の不具合
4. 自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
5. 環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合
（例えば、海岸地帯での塩害による腐食・大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜流酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食・異常な高温・低温・多湿による不具合など）
6. 天災・その他の不可抗力（例えば、暴風・豪雨・洪水・高潮・地震・地盤沈下・落雷・火災など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
7. 実用化されている技術では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
8. 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害による不具合
9. 植栽による不具合。(例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の障害など)
10. 引き渡し後の操作の誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
11. お客様自身の組み立て・取り付け・修理・改造（必要備品の取外しを含む）に起因する不具合
12. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
13. 犯罪などの不法な行為に起因する不具合。

■ その他事項

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

7 サービスネットワーク

新日軽株式会社

本社 ／ 〒141-0032 東京都品川区大崎1－11－1 ｹﾞｰﾄｼﾃｨ大崎ｳｴｽﾄﾀﾜｰ TEL:03-5759-2100 (代)

お客様相談室 （フリーダイヤル） 0120－37－2534

札幌支店 TEL:011-219-7511 FAX:011-219-7536
〒060-0042 札幌市中央区大通西7-3-1エムズ大通8F

特販課	011-219-7515	札幌営業所	011-219-7525
旭川営業所	0166-55-6671	函館営業所	0138-32-5711
苫小牧営業所	0144-55-1791	帯広営業所	0155-23-1174
釧路営業所	0154-25-3811		

東北住宅建材支店 TEL:022-297-3371 FAX:022-297-3360
〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡4-2-8 ﾃﾙｳｪﾙ仙台ビル9F

特販課	022-297-3364	山形営業所	0236-24-1122
青森営業所	0177-77-3597	宮城営業所	0229-24-3770
八戸営業所	0178-44-6551	仙台営業所	022-297-3364
秋田営業所	0188-63-2541	福島営業所	0245-58-8222
盛岡営業所	0196-53-5551	郡山営業所	0249-23-0811
酒田営業所	0234-26-2888	いわき営業所	0246-21-3940

北越住宅建材支店 TEL:0762-37-0122 FAX:0762-38-9739
〒920-0018 石川県金沢市三口町火7

新潟営業所	025-283-6681	金沢営業所	0762-38-5641
長岡営業所	0258-32-6681	福井営業所	0776-28-6601
富山営業所	0764-92-0420		

北関東支店 TEL:0273-28-2881 FAX:0273-28-2888
〒370-0046 群馬県高崎市江木町1511

群馬営業所	0273-28-2882	宇都宮営業所	0286-35-6671

長野支店 TEL:0262-24-2878 FAX:0262-24-2363
〒380-0823 長野県長野市南千歳1-12-7 新正和ビル4F

長野営業所	0262-24-2681	松本営業所	0263-26-6345
上田営業所	0268-23-6151		

埼玉支店 TEL:048-688-4156 FAX:048-688-1164
〒330-0831 埼玉県大宮市中川1008－1 斉藤ビル6F

特販担当	048-688-4158	熊谷営業所	0485-24-9141
大宮営業所	048-684-8777	所沢営業所	0429-98-1161

東関東支店 TEL:043-247-1251 FAX:043-247-1307
〒260-0028 千葉市中央区新町3－13 千葉TNビル6F

特販課	043-247-3233	水戸営業所	0292-27-3415
千葉営業所	043-247-3271	柏営業所	0471-62-3535

横浜支店 TEL:045-641-3381 FAX:045-663-2082
〒231-0015 横浜市中区尾上町3－35 有楽ビル4F

横浜第一営業所	045-641-2883	厚木営業所	0462-95-8000
横浜第二営業所	045-910-1667		

東京支店 TEL:03-5759-2216 FAX:03-5759-2309
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ｹﾞｰﾄｼﾃｨ大崎ｳｴｽﾄﾀﾜｰ23F

東東京営業所	03-5759-2216	多摩営業所	0425-27-2666
西東京営業所	03-3879-5411		

静岡支店 TEL:054-289-6117 FAX:054-289-6103
〒422-8067 静岡県静岡市南町11-1 静銀･中京銀静岡駅南ﾋﾞﾙ4F

特販課	054-289-6117	浜松営業所	053-463-7121
静岡営業所	054-289-6120	甲府営業所	0552-32-1551
沼津営業所	0559-23-9855		

名古屋支店 TEL:052-731-1911 FAX:052-731-6141
〒464-0075 名古屋市千種区内山3-29-10 千種AMビル8F

特販課	052-731-1308	岐阜営業所	058-272-2422
名古屋営業所	052-731-3281	三重営業所	0592-26-3434
三河営業所	0566-28-6122		

大阪支店 TEL:06-6390-1331 FAX:06-6390-1391
〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-1-5 辰野新大阪ビル6F

特販課	06-6390-1314	奈良営業所	0742-49-2331
大阪営業所	06-6390-1308	和歌山営業所	0734-28-1134
南大阪営業所	0722-79-2700	兵庫営業所	078-736-1021
京滋営業所	075-645-2070		

岡山支店 TEL:086-243-1243 FAX:086-243-8279
〒700-0975 岡山県岡山市今3－8－10

岡山営業所	086-243-1201	松江出張所	0852-55-8103
山陰営業所	0859-34-1351	福山営業所	0849-31-8420

中国支店 TEL:082-544-4134 FAX:082-544-4151
〒730-0042 広島市中区泰寺町2－3－23 広島ﾅｼｮﾅﾙﾋﾞﾙ6F

広島営業所	082-544-4136	山口営業所	0839-73-6800

四国支店 TEL:0878-33-7611 FAX:0878-33-5605
〒760-0080 香川県高松市木太町4区2135

特販課	0878-33-5601	松山営業所	0899-57-3121
高松営業所	0878-33-5601	徳島営業所	0886-99-2211

九州支店 TEL:092-712-8191 FAX:092-781-2256
〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-30 西鉄赤坂ビル8F

福岡営業所	092-712-1921	熊本営業所	096-366-0160
久留米営業所	0942-33-9331	南九州営業所	0992-26-5033
長崎営業所	0958-49-1710	宮崎営業所	0985-23-3441
大分営業所	0975-45-5471		

２００２年３月現在